

アンティグア・バーブーダ（2025年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在アンティグア・バーブーダ日本国大使館](#)

- 2024年度日本語教育機関調査結果
- 日本語教育の実施状況
- 教育制度と外国語教育

1.2024年度日本語教育機関調査結果

初等教育			中等教育			高等教育			学校教育以外			全体の合計		
機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（注）2024年度日本語教育機関調査は、2024年9月～12月に国際交流基金（JF）が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[「海外日本語教育機関調査」のページへ](#)

2.日本語教育の実施状況

全体的状況

沿革

日本語教育の実施は確認されていない。

3.教育制度と外国語教育

教育制度

教育制度

アンティグア・バーブーダの教育制度

プログラムレベル	理論的期間(年)	学年度開始時の理論 年齢 ¹	機関の種類
幼稚園	2	3	幼稚園
		4	

¹ 小学校と中学校の学年は9月1日から7月まで

小学校	7	5	小学校	
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
中等教育	5	12	中等学校	
		13		
		14		
		15		
		16		
第三次	2年間	17	アンティグア州立大学 ²	
第三次	学部	3~4年	17	大学 ³
	大学院	1~2年	21	
		3~5年	23	

- アンティグア・バーブーダでは、義務教育は5歳から16歳まで。

教育行政

- 教育・スポーツ・クリエイティブ産業省は、幼稚園、小学校、中学校の統括機関。
- カレッジボードはカレッジの統括機関。
- 大学評議会は大学の統治機関。

言語事情

- アンティグア・バーブーダの主な言語は英語で、その他、アンティグア・バーブーダ方言も話されている。
- スペイン語とフランス語は小学校のカリキュラムの一部で、通常は5歳から導入されている。
- 中等学校ではスペイン語とフランス語が提供されている(12歳から)。
- 現在、第一外国語と第二外国語の区別はない。

² カレッジとは、アンティグア州立カレッジの入学要件を指し、通常は15歳または16歳で取得するCXC証明書。カレッジは準学士号を提供している

³ 大学とは、西インド諸島大学ファイブアイランズキャンパスを指す

外国語教育

外国語の中での日本語の人気

カリブ地域においては、アニメや漫画を通じて日本に関心を抱く人々が広く見受けられ、日本語学習に対する関心も一定程度存在していると考えられる。

大学入試での日本語の扱い

大学入試で日本語は扱われていない。

情報更新についてのお願い

この国の日本語教育に関する情報がありましたらお知らせくださるようお願いいたします。

なお、内容の確認のため、こちらからご連絡する場合があります。

Eメール：kunibetsu@jpf.go.jp

(メールを送る際は、**全角@マークを半角@マークに変更してください**)